

(別紙1)

事業報告書

事業名	2022年3月日本画展「見捨てられた牛…明日へ」開催準備事業
趣旨・目的	福島のことを他人事と思わない人たちの輪を香川の中に広げ、息長い被災地支援の機運を醸成するために、当団体が毎年3月に開催している写真展等の開催を準備する。
事業実施の地域及び対象者	香川県内の幅広い年代層の人たち（県外からも参加者あり）
事業内容	<p>福島のことを知り、考えるための日本画展「見捨てられた牛…明日へ」を開催するための準備。</p> <p>日本画展開催日時：2022年3月4日（金）～6日（日） （3月3日に設営作業）</p> <p>場所：瓦町 FLAG アートステーション ギャラリー 対象：一般県民</p> <p>広報チラシ10,000部を作成。支援者・支援団体に郵送（約1,000通）。</p> <p>香川県、香川県教委、高松市、高松市教委の名義後援を得て、コミュニティセンター、図書館、学校などにも配布。</p> <p>3月6日に予定していたギャラリートークは、コロナ感染拡大防止のため中止し、その代わりに、3月3日に会場内で画家へのインタビューを実施し、その動画をYouTubeにアップして来場者にそのURLを広報した。</p>
事業実施期日	<p>準備のための実行委員会（オンライン開催） 8月17日、9月14日、10月12日、11月9日、12月14日 1月11日、2月8日、2月22日</p> <p>会場予約 10月1日（ギャラリー他） 広報チラシ作成 1月初旬 防災とボランティア展（1/11～13）を始め、各所に配布。 広報チラシ郵送 1月下旬</p>
事業実施の果効	<p>コロナ禍の中で、瓦町 FLAG への来館者もかなり減っていたようだが、それでも3日間で計221名が来場され、その年代層も幅広かった。うち58名が残して下さった感想シートには、多くの方が丁寧に思いを書き綴っておられ、画家の思いが伝わっていることが感じられた。風化させてはならない問題を改めて多くの方に考えて頂き、被災地への思いを新たにできる機会とすることができたことを実感した。</p>
備考	

